

住民の命あとまわし!

市民のアンケート・パブコメは何だったのか?

(2013<H25>年)

(2017<H29>年)

北部で建て替えるって言ってたやん!

協和会からの手紙で突然の計画変更

川西市は、「市立川西病院の建て替えは北部で。猪名川・豊能・能勢3町との連携・協力を進める(2015<H27>年5月発表)」としていたものを、「昨年12月に協和会(協立病院)から『病院経営の協力依頼』の手紙をもらったから」と突然の計画変更。

「現在の川西病院は廃止。キセラ川西(火打)に公設民営の病院・山下駅前に急病センター(1次救急)建設(川西市立総合医療センター構想<案>)」という内容です。

「協立病院が買う」としていた土地(17億円)を川西市がお買い上げ!!その上...

キセラ川西には、協立病院が建て替えを含めて参入予定。今年度中に17億円の土地代が川西市に入るはずでした。それが突然、市が、土地購入・病院建設費176億円(100%借金)かけて「市立川西病院」を建設。管理・運営は全て民間病院に委ねる指定管理者制度を導入(今年度中に公募するとしています)。事業費用の50%は、指定管理者が払うとしていますが、市に入ってくる国からの交付金(政策医療費分・約3億円)を指定管理者に毎年支払います。

その上、汚染土壌対策費、民間病院との協議による「指定管理料」がいくらになるかも不透明なまま。

今年度末基金が20億円を切る市財政の状況で、市民を後回しにした拙速な計画変更を強行するのではなく、市として病院の実態などの情報提供・説明責任を果たし、住民の声や願い第一に取り組むべきです。

市内のベッド数が減るやん!

「公募」?!
決まってるん違うの?!

6月議会、「病院の管理・運営を指定管理者にできる条例」が提案。北上・吉富・住田・黒田・北野の5議員が反対。来年3月議会、指定管理者の決定についての議案が提出予定です。

病院があるから引っ越してきたのに~

市北部が2次救急の空白地に

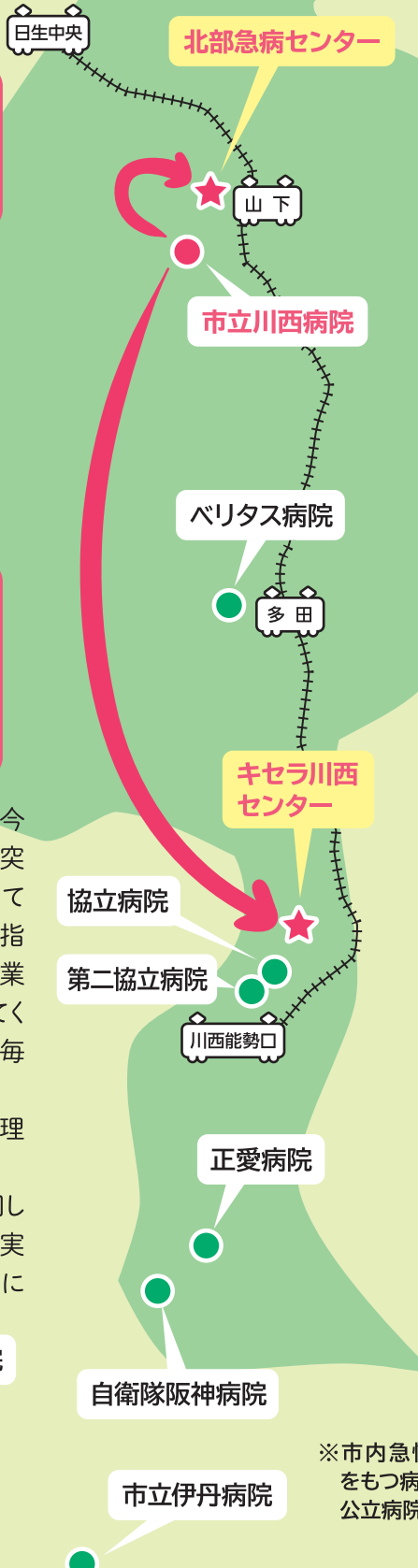
現市立川西病院(東畦野)がある東谷中学校区は、病院建設時から人口が1.56倍に増加。16万市民の20%が住んでいます。病院が廃止になれば、救急車で運ばれる・入院や手術ができる2次救急病院の空白地をつくることとなります(急病センターは1次救急・入院や手術はできません)。

2013(H25)年にまとめられた全市アンケートで62%の市民が「病院の必要性を求め」、48%が「北部で継続を求め」、今春のパブリックコメントでも、病院立地において、80%が「北部で求めている」ことから明らかなように、市は当初の計画通り「北部での建て替え」を進めるべきです。

救急病院がなくなる地域、医師・看護師・医療技術者など280人の解雇、関連事業への影響など、市のまちづくり、経済的な影響も含めて考えなければ、人口減少・少子化に歯止めをかけることはできません。

民間(指定管理者)になったら看護師やお医者さんの確保できるの?!

高齢者の交通費補助もなくて...負担ばかりが増える!



※市内急性期病床をもつ病院と近隣公立病院



日本共産党 川西市会議員団 議会報告 2017年夏季号

川西市中央町12-1 川西市役所6F TEL:072(740)1111 (内線 4020)
メール: info@jcp-kawanishi.main.jp
議員団直通FAX: 072(759)1811

住田由之輔
TEL 090-9283-6739
ブログ 住田由之輔 検索

黒田みち
TEL 090-9987-7909
ブログ たんぽぽだより 黒田みち 検索

北野のり子
TEL 080-3134-0618
ブログ 北野のり子 検索